

吊下げ機器の下には 必ず人がいます。 吊下げ工事をもう一度 見直しましょう。



2016年3月1日発行

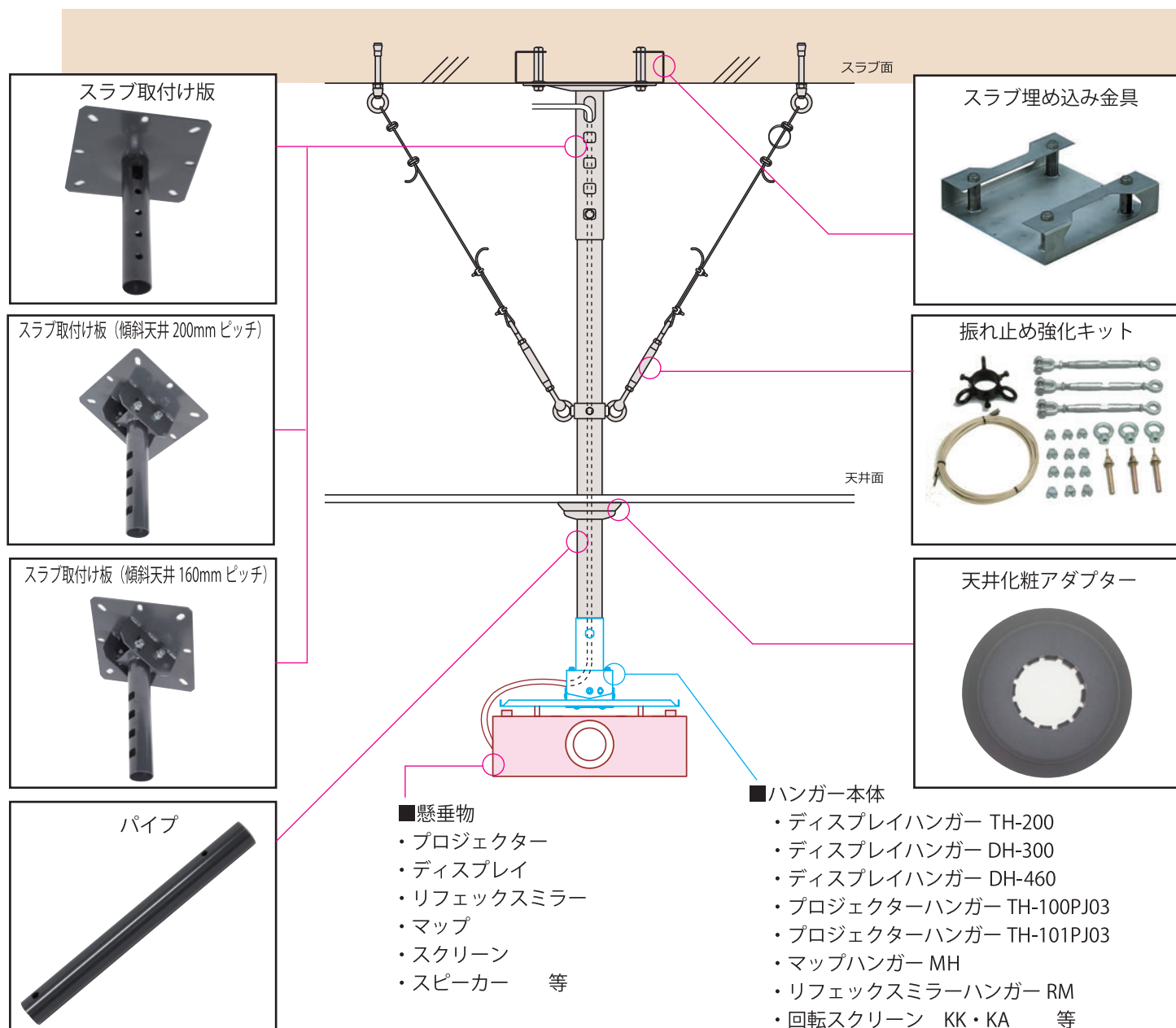
NO.04

お客様へのお役立ち情報、トピック等をお知らせする情報誌をお届けいたします。

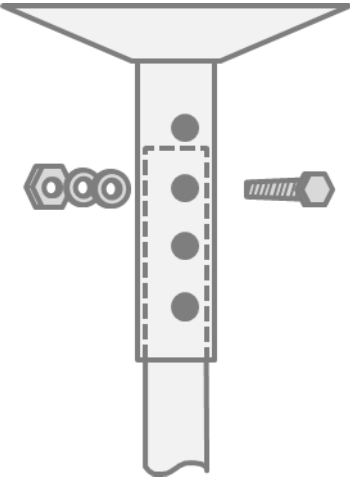
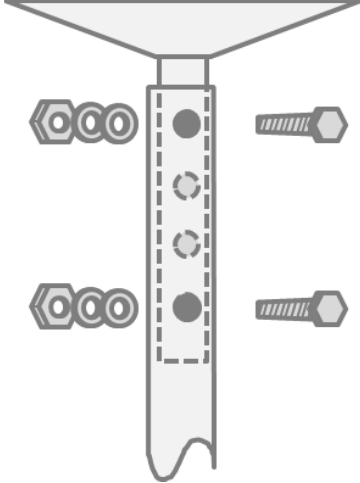
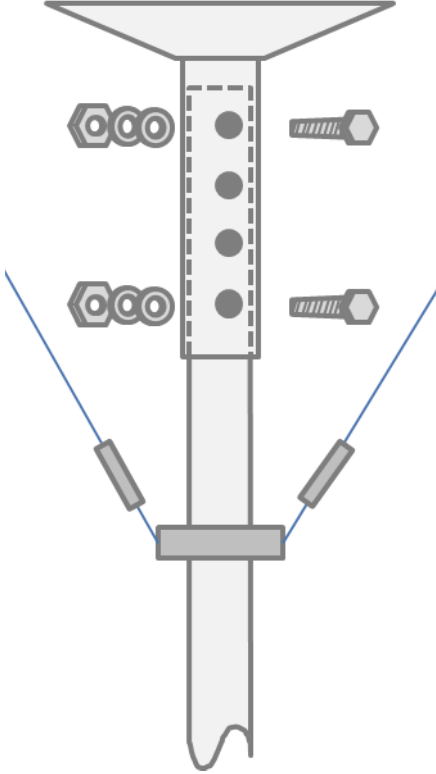
ハンガーは、プロジェクター・ディスプレイ・スクリーン・マップ・リフレックスミラー等、多くの機器を吊下げるための金具です。安全には十分の配慮が必要です。

ハンガーは、天井から機器を吊下げる金具です。オーエスではその設置条件により、安全基準を定めています。

■各部の名称 図はプロジェクターハンガーの例です。他の製品もほぼ同様のパーツ構成になっていますが、必ず専用ハンガーをお選びください。



ハンガー取付けに当たっては、パイプ長に従い正しい取付方法を必ず確認しましょう。

<p>ボルト 1 本止め TH-P,KY-P シリーズ</p>  <p>■TH-P シリーズ は 1600mm 以下、 ■KY-P シリーズ は 1250mm 以下の長さのパイプを使う場合、ボルトは 1 本止めで強度が確保できます。 貫通位置も四つの穴のどの部分でもお使いいただけます。</p>	<p>ボルト 2 本止め KY-P シリーズ</p>  <p>■KY-P シリーズは 1251 ~ 2000mm の長さのパイプを使う場合、ボルトは 2 本止めをしてください。 使用穴位置は最上部と最下部だけがお使いいただけます。 ■TH-P シリーズ は対象外です。</p>	<p>ボルト 2 本 + 振止め TH-P,KY-P シリーズ</p>  <p>■TH-P シリーズ は 1601mm 以上 ■KY-P シリーズ は 2001mm 以上のパイプを使用する場合には必ず振止めをしてください。 さらに最上部と最下部へのボルトによる 2 本止めが必要です。</p>
<p>TH-P シリーズ: ディスプレイ・プロジェクターハンガー用パイプ型式 KY-P シリーズ: スクリーン・マップ・リフレックスミラーハンガー用パイプ型式 TH-P と KY-P は、スラブ取付け板とパイプの入れ子の関係が逆になります。</p>		

株式会社オーエスは二〇一四年に創立六十周年を迎え、今新しい歴史を刻もうとしています。代表奥村正之が歩みを振り返ります。何が語られるか、お楽しみください。

ある時、社長が大阪支店に來られると言う話がありました。それまでは積極的に社内の整理整頓、清掃など誰もせず、もちろんそのような指示もなかったのですが、突然大阪支店の方々が一斉に動き出したのです。

私は同じ課の先輩に「なぜ、社長が來られるときだけ整理整頓、清掃をするのですか？」

いつも通りの大阪支店をご覧いただく方が良いのではないのでしょうか。」と確認をいたしました。

すると先輩は「たまにしか來られない社長をお迎えするのにきれいな方がよいでしょ。」とのことでした。

私はたまにしか來られないので普段の職場（大阪支店）をご覧いただく方がよいのではないか、と思っております。

また、大阪支店の地下には隠し倉庫のような部屋があり、売上げを上げて本来なら商品倉庫から直接配送するのですが、営業マンが配送を兼ねることもよくありましたので、その習慣を利用してなのか、営業マンが出庫した商品をお客様の倉庫ではなく、この地下倉庫に月末になると商品運び入れ、翌月もしくは翌々月返品するという悪しき習慣がありました。

いわゆる空売りです。

私はこの地下倉庫の存在に気がついたのですが、悪いことだと知りながらも何も言えずにいたのです。

そこで社長が來られたこの時に気づいていただければ、との思いもありました。

実際にはお気づきにはなられませんでした。

私の課では先輩であるベテラン営業マンと上司の話合いで一時的にこのようなことをやっていたようです。

隣の課ではカーショップやホームセンター向けのビジネスなので専用伝票先のお客様が多く、専用伝票を上げなければ、お客様にはわからずに売上げを立てることができたので、上司をはじめ部下の方々も常習犯でした。

このとき社長は本場の現場の状態を知ることができないのだなあ、と強く感じました。

今になってこのときの上司の口癖が思い出されます。

「奥村、人生は辛いことばかりや。」と

そうこうしていると、突然上司が転勤になってしまいました。

（続く）

乾坤一擲

004

代表
奥村正之

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。